

島根県医師会員を対象とした「警察業務に関する実態調査」の結果について

はた じょうたろう か とう てつ お しま だ やす お
 幡 城太郎 加 藤 哲 夫 島 田 康 夫
 よし だ ひろし し みず まさ ひさ やま ぐち さき もり
 吉 田 裕 清 水 雅 久 山 口 防 人
 やま さき かず しげ はやし まさ み つつみ とし お
 山 崎 一 成 林 正 巳 堤 俊 夫

キーワード：警察協力医部会，警察医，死体検案

要 旨

島根県医師会員全員1,184名を対象に「警察業務に関する実態調査」を行った。回答数256名（回答率21.63%）であり，このうちの194名の先生方がなんらかの形で警察業務への協力をなされており，具体的な内容では死体検案が47.4%と最も多かった。今後研修会で取り上げてほしいテーマとしては「異常死体の届出について」が最も多く，ついで「大規模災害時の対応」，「死亡診断書について」であった。

はじめに

平成13年各警察署に委嘱された警察医を中心として現在の島根県医師会警察協力医部会が結成され，県医師会のバックアップのもと，以後毎年1回の総会を開催してきた。また，島根大学医学部法医学教室，鳥取大学医学部法医学教室の協力のもと，同時に研修会を開催してきた。以前より会員にとって有意義な研修内容を部会で検討し決めてきたが，一度会員に研修内容についての要望を確認したいと考えていた。また，最近の急激な社会環境の変化により，犯罪の多様化，凶悪化，地

方への分散化，それにともなって警察業務への協力の形態もかわって来ている。一昨年そのような経緯もあって広島県医師会では，全医師会員を対象に警察業務についてのアンケート調査を行ない第12回日本警察医会学術講演会で報告された。島根県警察協力医部会においても，今後の研修会のあり方を考えるためもあって，島根県医師会員全員を対象に警察業務に関する実態調査を行なった。

方法と手段

島根県医師会員全員1,184名を対象として，平成19年12月17日に平成19年度警察協力医部会総会・研修会開催案内にあわせてアンケートの郵送を行なった。FAXにて回答を依頼し，平成20年

Jyotarou HATA et al.

島根県医師会警察協力医部会 副部会長 幡 城太郎
 連絡先：〒690-0847 島根県松江市片原町87